

糖尿病だより

2012 年 6 月

No.2 1



～臨床検査科より～ HbA1c ヘモグロビン・エーワンシーに注目！！

ヘモグロビンは、血液中の赤血球の中にあり、全身に酸素を運んでいます。このヘモグロビンに糖が結合したものの一つが、HbA1c です。血糖値が高くなるほど、多く結合し、過去 1～2 ヶ月の血糖値の平均値を反映します。

HbA1c の国際標準化について・・・

2012 年 4 月から、国際的に使用されている NGSP 値に表記法が変わりました。今までの値（JDS 値）とくらべて、およそ 0.4% 高くなります。

糖尿病の診断・・・

空腹時血糖値 126mg/dL 以上か、随時血糖値 200mg/dL 以上と HbA1c 値 6.5% 以上で糖尿病と診断されます。

糖尿病のコントロールの目標・・・

合併症の発症や進行を防ぐために HbA1c 値 6.9% 未満を目指しましょう。

血糖コントロールの指標と評価・・・

コントロールの評価とその範囲

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP) (%)	6.2 未満	6.2-6.9 未満	6.9-7.4 未満	7.4-8.4 未満	8.4 以上
空腹時血糖(mg/dL)	80-110 未満	110-130 未満	130-160 未満		160 以上
食後 2 時間血糖値(mg/dL)	80-140 未満	140-180 未満	180-220 未満		220 以上

糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。



糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター